

みんなであんぜん

No. 4

〈オリジナル防災マップづくりを行いました!〉

7月の「防災学習の日」の活動として、11日（月）と14日（木）の2日間で、各学級ごとに「オリジナル防災マップ」作成を行いました。

防災学習の一環として、家族で決めた「2次避難場所」の確認と自分たちが普段通学している所の危険箇所を話し合い、一つのマップにまとめました。

活動の中で、津波被害だけでなく、高潮や洪水、土砂崩れなどが予想される箇所や熊や鹿が出そうな場所などをみんなで確認しました。

「災害」はいつどこで起こるか分かりません。学校以外で災害にあった時、今回話し合っただけで確認した、地区内にある避難できる場所や危険箇所を思い出し、「自助」を最優先に考えた行動をとってほしいと思います。

なお、今回まとめたマップは、各学級に掲示してありますので、来校の際にご覧いただけたらと思います。



活動後にとった事後アンケートの感想を紹介します。

「日頃から家族で避難場所を話し合ったりして、いざという時に困らないようにしたい。」

「これからは危険な場所と確認したところを覚えて、家族の人たちに教えてあげたいと思いました。」

「一人で考えるよりも、グループみんなで考える方が、良い考えが生まれるということが分かりました。」

「これから災害がいつ起こるか分からないので、日頃から備えることが大切なことだと改めて感じることができました。」

「災害は、いつ起こるか分からない恐ろしいものなので、災害時に備えて避難場所を考えるのは、命を守る大切なことだと思いました。」



〈日頃から災害に対する心構えを!〉

もうすぐ夏休みです。生徒の皆さんは、時間に余裕ができ、気持ちにも余裕ができると思います。楽しい計画を立てている人もいるでしょう。そのような中でも、災害に対する心構えをしっかりとってほしいと思います。

地震はいつ起こるか分かりませんし、この時期に起こり得る災害（集中豪雨・竜巻・雷など）にも注意してほしいと思います。安全な毎日を過ごしましょう。